

1 概況

令和5年3月に本校を卒業した14期生119名(男子63名、女子56名)は、後期を一斉休校でスタートし、後期生活はほぼコロナ禍という状況の中で、「第1志望校、現役合格」をめざして一人ひとりが前進し、自分の夢や希望を実現すべくそれぞれの進路先に進みました。現役進学率は、過去最高の97.5%でした。

14期生は、最終学年における校外模試でよい結果を出し、そのままの勢いで大学入試を駆け抜けることができたように思います。後期生活がほぼコロナ禍である中でも、それぞれが前を向いて着実に前進し、心身ともに大きく成長した証であろうと思います。近未来の社会において、本校の教育理念である「World Citizen」として活躍するものと確信しています。

2 最難関大、医学部医学科

現役生は、東京大に4名(文Ⅲ1名、理Ⅰ3名)のほか、京都大に3名(法、医・健康、工各1名)が進学します。男女別内訳は東京大が男子3名、女子1名。京都大はいずれも男子です。

医学部医学科については、国公立では、東北大に4名、群馬大に2名のほか、弘前大、山形大、筑波大、東京医科歯科大、大分大にそれぞれ1名、私立大では獨協医科大に1名の計12名が進学します。その男女別内訳は男子6名、女子6名です。

3 国公立大

最難関大を含む国公立大には現役生のべ75名が合格し、そのうちの64名が進学します。北は北海道から、南は大分県まで、東日本を中心に進学していきます。難関10大学では、上記東大・京大の7名のほか、東北大に10名、東工大に3名、一橋大に2名、北海道大、名古屋大、九州大にそれぞれ1名が進学します。

4 私立大

私立大学の定員厳格化の緩和の影響もあってか、14期生の合格率は高かったように思います。最多進学先は早稲田大で8名が進学します。そのうち指定校推薦による進学者は6名でした。

5 過年度卒業生(浪人生)【参考】

過年度卒業生は、千葉大(医)、岐阜大(医)、京都工芸繊維大(工芸科学)、慶應義塾大(理工)、東邦大(医)、帝京大(医)、中央大(国際経営)、産業医大(医)等に合格し、報告のあった9名のうち、5名が医学部医学科に進学します。

6 展望

3年目を迎えた「大学入試共通テスト」は、思考力・判断力が求められる傾向がより明確になりました。昨年度入試では平均点が大幅にダウンしましたが、今年度は落ち着いた入試であったように思います。

新学習指導要領が始まり、今後は、思考力・判断力がよりいっそう求められる問題が多くなることが予想されます。本校は、グローバル教育の推進とさらなる授業改善が、大学入試改革への対策に直結するものと考えています。生徒全員の「第1志望校、現役合格」を実現するために、今後も関係の皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願いいたします。

【表1】卒業生の進路別実人数(現役生のみ)

卒業期	卒業生数	大学		準 大学 等	就 職	進 学 努 力	現役 進学 率 (%)
		国 公 立	私 立				
1	124	50	53	4	0	17	86.3
2	124	51	56	4	0	13	89.5
3	119	50	48	0	0	21	82.4
4	120	49	54	3	0	14	88.3
5	124	60	52	4	0	8	93.5
6	119	61	46	3	0	9	92.4
7	122	60	53	2	0	7	94.3
8	122	44	62	5	0	11	91.0
9	123	52	55	1	0	15	87.8
10	122	57	59	0	0	6	95.1
11	122	65	43	3	0	11	91.0
12	119	54	61	0	0	4	96.6
13	116	45	61	4	0	6	94.8
14	119	64	51	0	0	3	97.5

【表2】14期生文理別、男女別進路先(実人数)

	卒業生数	大学		準 大学 等	就 職	進 学 努 力
		国 公 立	私 立			
文系男子	21	9	12	0	0	0
文系女子	34	10	24	0	0	0
理系男子	42	29	10	0	0	3
理系女子	22	16	6	0	0	0

- ・準大学等…文部科学省所管外の大学校のほか、短大、専修・各種学校、海外の大学等を含む
- ・現役進学率…(卒業生数-進学努力)÷卒業生数×100

